

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P178～187参照		
中学部【職業・家庭】 目標		
生活の営みに係る見方・考え方や職業の見方・考え方を働かせ、生活や職業に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	(2) 将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を養う。	(3) よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。
職業分野		
【1段階】		
職業に係る見方・考え方を働かせ、作業や実習に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
ア 職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。	ウ 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。
【2段階】		
職業に係る見方・考え方を働かせ、作業や実習に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
ア 働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。
家庭分野		
【1段階】		
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
ア 家庭の中の自分の役割に気付き、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、日常生活において課題を解決する力の基礎を養う。	ウ 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。
【2段階】		
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
ア 家族や自分の役割について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	イ 家庭生活に必要な事柄について考え、課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、日常生活において課題を解決する力を養う。	ウ 家族や地域の人々とのやりとりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

■ 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 中学部2段階の内容を習得し、目標を達成して小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 中学部の段階の指導が難しい場合は、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P178～187参照						
中学部【職業・家庭】1段階 職業分野						
目標						
職業に係る見方・考え方を働かせ、作業や実習に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等				
ア 職業について関心をもち、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活に必要な事柄について触れ、課題や解決策に気付き、実践し、学習したことを伝えるなど、課題を解決する力の基礎を養う。	ウ 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫しようとする態度を養う。				
内容			1学年	2学年	3学年	
A 職業生活	ア 働くことの意義：働くことに関心をもち、作業や実習等に関わる学習活動 (ア)働くことの目的などを知ること。 (イ)意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くこと。 (ウ)作業や実習等で達成感を得ること。					
	イ 職業：職業に関わる事柄について、考えたり、体験したりする学習活動 (ア)職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ⑦ 職業生活に必要な知識や技能について知ること。 ⑧ 職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ること。 ⑨ 材料や育成する生物等の扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について知ること。 ⑩ 作業課題が分かり、使用する道具等の扱い方に慣れること。 ⑪ 作業の持続性や巧緻性などを身に付けること。 (イ)職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 ⑦ 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について気付くこと。 ⑧ 作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫すること。 ⑨ 職業生活に必要な健康管理について気付くこと。					
	B 情報機器の活用：職業生活で使われるコンピュータ等の情報機器に触れることなどに関わる学習活動 ア コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ること。 イ コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えること。					
C 産業現場等における実習：実践的な学習活動 ア 職業や進路に関わることについて関心をもったり、調べたりすること。 イ 職業や職業生活、進路に関わることについて、気付き、他者に伝えること。						
中学部【職業・家庭】2段階 職業分野						
目標						
職業に係る見方・考え方を働かせ、作業や実習に関する実践的・体験的な学習活動を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等				
ア 働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。	イ 将来の職業生活に必要な事柄を見いだし課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。	ウ 将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。				
内容			1学年	2学年	3学年	
A 職業生活	ア 働くことの意義：働くことに対する意欲や関心を高め、他者と協力して取り組む作業や実習等に関わる学習活動 (ア)働くことの目的などを理解すること。 (イ)意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者との関係や役割について考えること。 (ウ)作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むこと。					
	イ 職業：職業に関わる事柄について、考えを深めたり、体験したりする学習活動 (ア)職業に関わる知識や技能について、次のとおりとする。 ⑦ 職業生活に必要な知識や技能を理解すること。 ⑧ 職業生活を支える社会の仕組み等があることを理解すること。 ⑨ 材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解すること。 ⑩ 作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解すること。 ⑪ 作業の確実性や持続性、巧緻性などを身に付けること。 (イ)職業生活に必要な思考力、判断力、表現力等について、次のとおりとする。 ⑦ 職業に関わる事柄と作業や実習で取り組む内容との関連について、考えて、発表すること。 ⑧ 作業上の安全や衛生及び作業の効率について考えて、工夫すること。 ⑨ 職業生活に必要な健康管理について考えること。					
	B 情報機器の活用：職業生活や社会生活で使われるコンピュータ等の情報機器を扱うことに関わる学習活動 ア コンピュータ等の情報機器の基礎的な操作の仕方を知り、扱いに慣れること。 イ コンピュータ等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現すること。					
C 産業現場等における実習：実践的な学習活動 ア 職業や進路に関わることについて調べて、理解すること。 イ 職業や職業生活、進路に関わることと自己の成長などについて考えて、発表すること。						